

北陸信越工学教育協会石川県支部・講演会

移動通信システムの開発経緯と5G応用最前線

講演概要

1979年に、世界に先駆けて国内の商用サービスが開始されてから44年近く経過した移動通信システムは、その絶え間ない研究開発により、有限の電波資源を効率良く利用し、広範かつ高度なサービスの提供が可能となるよう、概ね10年周期で大きな進化を遂げてきた。

本講演では、第1～第4世代に至る移動通信システム(1G～4G)の変遷を概観した上で、2020年3月に商用化された第5世代移動通信システム(5G)の研究開発と国際標準化の経緯について述べ、さらに5Gを応用する新サービスの開拓と最先端応用に向けた取組事例について紹介する。

講師

NTTドコモ R&D 戦略部

シニア・テクノロジー・

アーキテクト

おくむら ゆきひこ

奥村 幸彦 氏



奥村 幸彦 氏は、1992年以來、NTTドコモにおいて一貫してデジタル無線アクセス方式に関する研究、国際標準化、商用装置開発および応用サービス創出に従事し、第3世代から第5世代に至る移動通信システムの実用化を推進されている。2020年に電子情報通信学会第57回業績賞を受賞。現在、NTTドコモ R&D 戦略部シニア・テクノロジー・アーキテクト。IEEE Senior Member。博士(工学)。著書「5Gの本」など。

日時：2023年11月13日(月) 15:10 ~ 16:50

場所：金沢工業大学12号館4階イノベーションホール

申込：必要事項を記入し、メールにてお申込みください

【必要事項】・お名前 ・ご所属/役職

【申込み先】 hoku@mlist.kanazawa-it.ac.jp

【申込〆切】11月9日(木)

問合先：金沢工業大学 工学部 野口啓介
noguchi@neptune.kanazawa-it.ac.jp